

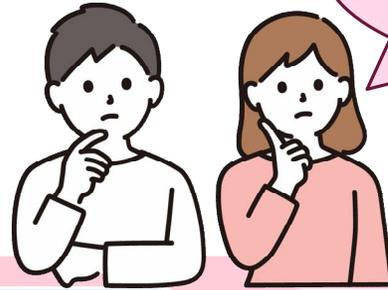
令和5年度  
第1層生活支援コーディネーターの取組

---

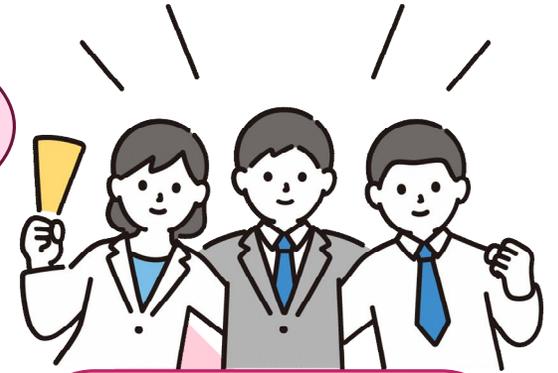
川西市福祉部介護保険課

# 生活支援コーディネーター間の連携強化を目的とした連絡会等の開催

	第1層	第2層
平成27年	市 1名	配置なし
平成28年	市 1名	市 3名
平成29年	市 1名 (第2層兼務)	
平成30年	市 1名	社協 1名
令和元年	市 1名	社協 1名
令和2年	市 1名	社協 1名
令和3年	市 1名	社協 4名 (CSW※兼務)
令和4年	市 1名	社協 5名 (CSW兼務)
令和5年	市 1名	社協 6名 (CSW兼務)
令和6年	市 1名	社協 7名 (CSW兼務)



どうすれば、より連携が強化できるか



令和元年、令和2年度  
不定期開催

令和3年、令和4年度  
毎月開催に変更  
主に活動報告

令和5年度  
毎月開催  
(連絡会で何を行うか  
事前打ち合わせを行う)

※連絡会では、報告だけではなく、めざす方向性や検討する取組等の共有を行う

※第1層、第2層生活支援コーディネーターで協働して行う事業について、担当間で協議を重ね、協力して事業を行う

※令和6年度より、第2層圏域への配置が1名増員され7名となり(市社会福祉協議会)、日常生活圏域ごとに1名配置されることにより、地域包括支援センターとの連携の強化や地域づくりのためのサポートが強化されるため、それぞれの役割を明確にしなが、協働していく。

※以下、生活支援コーディネーターをSCとする

※CSWとは、コミュニティソーシャルワーカー

# 訪問型支えあい活動者交流会

訪問型支えあい活動者交流会は、多様な支えあい活動を行っている活動者が情報交換などを通じて交流を深め、訪問型支えあい活動の重要性、活動のすばらしさややりがいを共有し、活動の継続や発展につなげるとともに、地域や団体を越えたつながりづくりを目的としており、令和6年1月に第1回の交流会を開催しました。



### 交流会の目的

**共有**

貴団の活動の中の良いエピソードを伝え、アイデアを出し合うなど、**宿題共有の場**

**継続**

活動者を増やすためなど活動が廃止し、継続するために**活躍の経験や考えの場**

**連携**

活動者同士が、地域や活動主体を超えて、相互の多様な活動を知り、見える関係性を作る**活動者同士の連携の場**

## はじめての交流会を開催！

令和6年1月29日(月)午前10時から川西市役所大会議室で「訪問型支えあい活動者交流会」を開催しました。  
当日は、訪問型支えあい活動や地域活動など多様な支えあい活動を行っている団体や活動者に参加していただきました(21団体、29名)。  
当日は、地域や団体を越えてひとつのテーブルに集ってスタートし、顔合わせの方もおられる中、活動や地域に対する思いは皆さん同じで、グループワークの時間を延長したほどでした。



### 【当日のグループワークのテーマ】

1. 依頼から活動までの流れ
2. 活動者の増やし方
3. 活動事例・活動内容
4. 移動支援



### グループワークでの主な意見や感想

- 活動者を増やすためには？
- 移動支援、お出かけ支援のニーズは多いが、他の地域はどうしてる？
- 互いが気持ちよく支えあえる料金設定は？
- 近年、若年層は、報酬の高い方を選んでしまうが、ボランティアはお金ではなく活動後の「ありがとう」の言葉がやりがいになっている
- この活動を行うことで自分が得るやりがいや喜びを広く知って欲しい
- もっと活動したい人には、地域活動への参加とシルバー人材センターやNPOの活動を奨励して行うことを勧めても良いのでは
- 課題の認識を音で話し合う、素晴らしい機会に感じた。

### これからアイデアを出し合うテーマ

- ・人材確保
- ・費用支援
- ・活動内容(範囲・料金)
- ・広げ
- ・コーディネーターの育成



今後は、交流会を年に2回程度開催します。訪問型支えあい活動だけでなく、様々な地域活動についてアイデアを出し合い、誰もが自分らしく暮らせる地域をめざし、地域や活動団体を越えて語り合いたいです。



訪問型支えあい活動者交流会は、多様な支えあい活動を行っている貴様が、情報交換などを通じて交流を深め、訪問型支えあい活動などの地域活動の重要性、活動の素晴らしさや、やりがいを共有し、活動の継続や発展につなげるとともに、地域や団体を越えたつながりづくりを目的として行う交流会です。

【お問い合わせ先】  
川西市福祉サービス課 担当：第1層生活支援コーディネーター兼務  
TEL(072)740-1148 FAX(072)740-2003  
MAIL: kawa0182@city.kawanishi.lg.jp  
川西市社会福祉協議会 担当：第2層生活支援コーディネーター  
TEL(072)759-5200

※他団体に聞いてみたいことを事前に聞き取り、グループワークで配付しました。

1	依頼から活動までの流れ	・依頼窓口 ・コーディネーターの役割 ・活動手順 など
2	活動者の増やし方	・広報方法 ・新しいアイデア など
3	活動事例	・大変だったこと ・解決方法 ・気をつけた方がよいこと など
4	移動支援	・移動手段 ・移動の範囲 ・活動手順 など
5	事務の工夫	・事務処理方法 ・事務処理の工夫 など
6	活動内容の範囲	・活動内容 ・活動内容の検討方法 など

交流会では活動状況や取組についての活発な意見交換が行われました。  
また、横のつながりも広がり、交流会後、直接団体間で連絡を取り合うケースもありました。今後も年に2回程度開催し、活動の継続のための様々な提案や活動団体間の交流を深めるサポートを行います。

# 生活支援サポーター交流会

## 《趣旨・目的》

基準緩和型事業所で従事することを目的とした「川西市生活支援サポーター養成研修」を修了した生活支援サポーターが、就労する意欲の向上・維持や学んだ知識を地域活動で活かせるきっかけとして、ご自身が「できること」や「やりたいこと」を再発見していただく。

## 【ワールドカフェ】

川西市生活支援サポーター養成研修を受講し、生活支援サポーターに登録していただいた方々に研修で学んだことを活かしていただくために、多様な介護職の就労や地域活動の紹介を行いました。

## （ワールドカフェの目的）

- ・多様な福祉現場で人材が不足している。多様な福祉現場に興味を持ってもらう
- ・就労への不安を少しでも取り除く
- ・様々な地域活動を知り、地域活動への参加を推進する

## （ワールドカフェでの意見）

- ・就労するには、多様な勤務形態等根本的な改革が必要（曜日、時間等）
- ・就労に不安があったが、依頼内容によっては、複数名で訪問する場合もあると聞き、不安が払拭できた
- ・地域活動者は、60～70歳代の方が圧倒的に多く高齢化していることが一番の課題

## 《今後の取組》

- ・研修方法の検討
- ・サポーター登録者へのより効果的なアプローチ方法



令和6年3月発行 ココロ

# 庁内他部署と協働して行った取組（買い物支援ネットワーク）

買い物支援ネットワーク会議を2ヶ月に1回開催

（主な役割）

- ・事業者・・・情報共有や販売場所の調整等
- ・市社協・・・地域のニーズの聞き取り
- ・市・・・広報

（ネットワーク構成員）

株式会社関西スーパーマーケット（とくし丸）  
株式会社セブン-イレブン・ジャパン  
株式会社ダイエー  
株式会社阪急阪神百貨店  
生活協同組合コープこうべ  
川西市社会福祉協議会  
川西市

## 第1層生活支援SCと行政の動き

奈良市お買い物支援  
ネットワーク視察

（参加者）

企画政策課、介護保険課  
第1層SC、2層SC

買い物支援  
ネットワーク  
開始

企画政策課、産業振興課  
地域福祉課、介護保険課  
移動販売のネットワークの検討

自治会・福祉委員会  
等、地域へのニーズ  
の聞き取り

移動販売を行うために  
公園緑地課→公園等  
参画協働課→公民館等公共施設  
の無償使用の検討

地域の販売拠点  
の検討

## 第2層生活支援SCの動き

市内のセブンイレブン  
オーナーより移動販売  
事業者間のネットワー  
クの提案

株式会社ダイエーより  
移動販売の提案

買い物支援  
ネットワーク

移動販売

実施中



（買い物支援ネット  
ワーク参加事業者用  
のぼりのデザイン）

# 課題に対する主な取組

課題

地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

めざす地域の姿、方針の共有, 意識の統一

多様な主体への協力依頼の働きかけ

関係者のネットワーク化

SCの取組の広報

令和5年度取組内容

かわナビ※1を活用した地域診断

地域包括支援センターとの地域診断の情報共有

生活支援サポーター交流会

訪問型支えあい活動者交流会

市商工会との連携

つながり連絡会

(参画協働課、地域福祉課、介護保険課、市社会福祉協議会、市民活動センター)

買い物支援ネットワーク

地域包括支援センターや専門職との連携

令和4年度生活支援SC活動報告書  
発行

令和5年度生活支援SC活動報告書  
作成

令和6年度取組内容

(令和6年度)  
地域包括支援センターとの地域めざす姿の共有

地域との地域診断とめざす姿の共有

交流会参加者の社会活動ニーズを把握し、第2層SCへつなぐ

多様な関係機関とのつながり

多様な視点での新しい取組の発見

継続したネットワーク

生活支援コーディネーター活動報告を活用した啓発

※福祉と医療の総合情報サイト<かわにしサポートナビ>の略称

# 令和6年度に第1層生活支援コーディネーターが取り組むべきこと

## 多様なネットワークの構築によるつながりづくり

- ・専門職との連携強化
- ・地区を越えた横のつながりづくりの推進
- ・多様な主体間のネットワーク

## 市全体で取り組むべき課題の明確化

第2層SCと連携し把握した課題を介護保険運営協議会生活支援体制整備部会で協議の上、具体化する。



多様な連携の重要性を伝える

第2層SCが動きやすくなる



先進事例の情報収集力

第2層SCが把握した課題の解決に向けて施策提言

互いに提案し合える関係性を作る



SCの取組の見える化

## SCの取組や成果の見える化

- ・SCの活動内容の周知・広報
- ・地域活動の把握・情報発信・成果

## 互いを認める関係性

- ・第2層SC
- ・地域包括支援センターやケアマネジャー
- ・市内他部署
- ・多様な団体(コミュニティ協議会、民生委員など)
- ・他市町SC など